

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・iシェアーズ・全世界債券インデックス・ファンド（年4回決算型）（愛称：サクっと全世界債券（分配重視型）」は、2026年6月12日に第8期決算を行いました。

当ファンドは、主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

ここに作成期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第8期末（2026年6月12日）

基準価額	10,651円
純資産総額	619百万円
第7期～第8期	
騰落率	3.5%
分配金（税込み）合計	200円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記SBIアセットマネジメントのURLにアクセス
⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・iシェアーズ・全世界債券 インデックス・ファンド（年4回決算型） （愛称：サクっと全世界債券（分配重視型）） 追加型投信／内外／債券／インデックス型

交付運用報告書

第4作成期

第7期（決算日 2026年3月12日）第8期（決算日 2026年6月12日）

作成対象期間（2025年12月13日～2026年6月12日）



SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

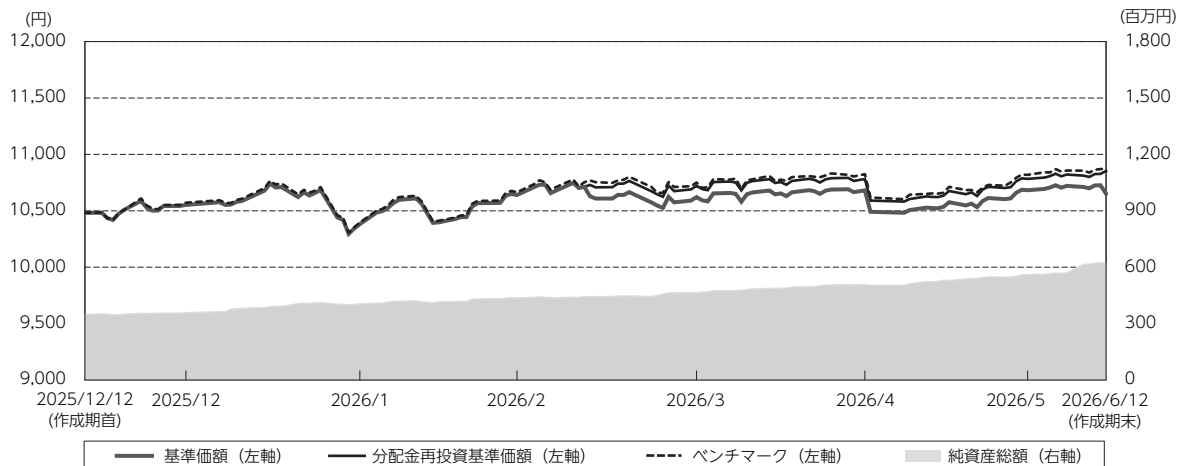
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

SBIアセットマネジメント
URL:<https://www.sbi-am.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2025年12月13日～2026年6月12日）



- (注1) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは、作成期首（2025年12月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注4) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注5) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年12月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注6) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 米国景気の減速懸念や金融政策の緩和期待による米国長期金利の低下
- ・ 欧州景気の持ち直し期待を背景とした欧州債券市場への資金流入
- ・ 先進国における安全資産需要の高まりによる国債価格の上昇
- ・ 日米金利差に着目した為替市場のドル高

下落要因

- ・ 米国経済の底堅さやインフレ圧力への警戒感による米国長期金利の上昇
- ・ 欧州景気の回復期待やインフレ動向を背景とした欧州長期金利の上昇
- ・ 日本銀行による金融政策正常化の進展や物価上昇圧力による日本長期金利の上昇
- ・ 日銀の利上げや金融政策正常化の進展に伴う為替市場の円高

1万口当たりの費用明細

（2025年12月13日～2026年6月12日）

項 目	第7期～第8期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 3	% 0.032	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(1)	(0.012)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.012)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.008)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	8	0.076	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.030)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	11	0.108	
作成期中の平均基準価額は、10,593円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

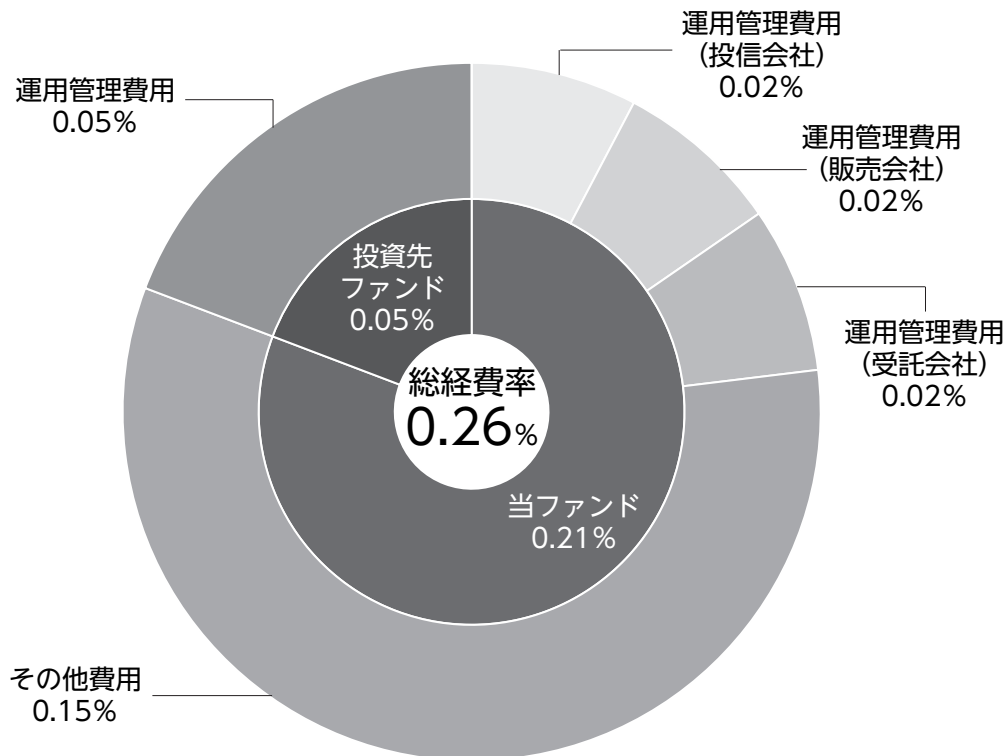
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。



総経費率（①＋②）	0.26%
①当ファンドの費用の比率	0.21%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

（注3）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注5）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

（注6）①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年6月12日～2026年6月12日）



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2024年7月17日～2026年6月12日）のみの記載となっています。
- (注2) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。
- (注3) ベンチマークは、設定日（2024年7月17日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注5) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注6) 分配金再投資基準価額は、設定日（2024年7月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注7) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2024年7月17日 設定日	2025年6月12日 決算日	2026年6月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,603	10,651
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△4.0	14.1
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△3.8	14.9
純資産総額 (百万円)	120	247	619

- (注1) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。
- (注2) ベンチマークは、設定日（2024年7月17日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
- (注3) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。
- (注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年6月12日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2025年12月13日～2026年6月12日）

<先進国債券市場>

先進国債券市場を代表する米国債券市場、特に米国10年国債（長期金利）の動きを見てみます。作成期初は4.1%台で始まりましたが、米国景気の減速懸念や金融政策の緩和期待を背景に金利は低下し、2026年2月下旬から3月初めには一時4.0%を下回る水準にまで低下しました。その後は米国経済の底堅さやインフレ圧力への警戒感が再び強まり、長期金利は上昇に転じました。3月以降は金融政策の先行きを巡る思惑から変動の大きい展開となり、5月中旬には一時4.7%近辺まで上昇しました。その後は上昇が一服したものの高水準で推移し、4.5%前後で作成期末を迎えました。

欧州債券市場を代表するドイツの長期金利は、作成期初の2.8%台から低下傾向で推移し、2026年2月末には2.7%を下回る場面も見られました。しかし、その後は欧州景気の持ち直し期待やインフレ動向を背景に金利が上昇し、3月後半以降は3.0%近辺を中心に推移しました。5月には一時3.2%近辺まで上昇した後、やや低下したものの、通期では上昇して3.0%前後で作成期末を迎えました。

日本債券市場では、日本銀行による金融政策正常化の進展や物価上昇圧力を背景に長期金利は上昇基調で推移しました。日本の10年国債利回りは作成期初の1.9%台から上昇し、2026年5月には一時2.8%近辺まで上昇しました。その後は上昇が一服し、期末にかけてはやや低下したものの、2.6%台と期初を大きく上回る水準で作成期末を迎えました。

<外国為替市場>

当作成期、米ドル／円相場はドル高円安で推移しました。期初の2025年12月中旬には1ドル155円前後で始まりましたが、米国におけるインフレの粘着性や金融緩和に対する慎重な見方を背景にドル買いが優勢となり、2026年1月にかけては一時159円近辺まで上昇しました。その後、米景気減速懸念や金利低下期待などを背景にドル売りが強まり、1月下旬から2月中旬にかけては一時152円台まで円高が進む局面も見られました。

しかしながら、2月下旬以降は米国の底堅い経済指標やインフレ懸念の再燃を受けてドル買いが再び優勢となり、米ドル／円相場は上昇基調に転じました。3月以降は158～160円を中心としたレンジで推移し、一時的に振れを伴いながらも高値圏でのみ合いとなりました。

4月末から5月初にかけては、為替介入警戒や市場イベントを背景に一時的に156円台まで急落する場面が見られたものの、その後は再びドル高基調に回帰しました。期後半にかけては米金利の高止まり観測を背景にドル買いが継続し、期末の2026年6月中旬には160円前後の水準で取引を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年12月13日～2026年6月12日）

ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）に連動する投資成果を目標とし、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

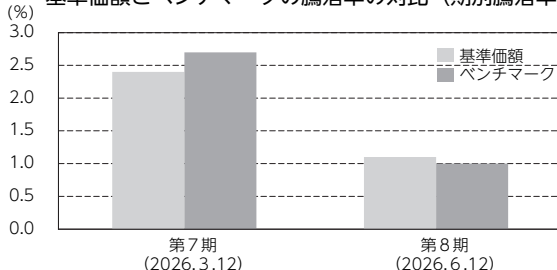
当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年12月13日～2026年6月12日）

作成期中における分配金も考慮した基準価額は+3.5%となり、ベンチマークである「ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）」の騰落率である+3.7%を概ね0.2%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。詳細はP13をご参照ください。

分配金

（2025年12月13日～2026年6月12日）

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向などを勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第7期	第8期
	2025年12月13日～ 2026年3月12日	2026年3月13日～ 2026年6月12日
当期分配金	100	100
(対基準価額比率)	0.932%	0.930%
当期の収益	100	53
当期の収益以外	－	46
翌期繰越分配対象額	893	931

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資し、全世界（日本を含む）債券市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

お知らせ

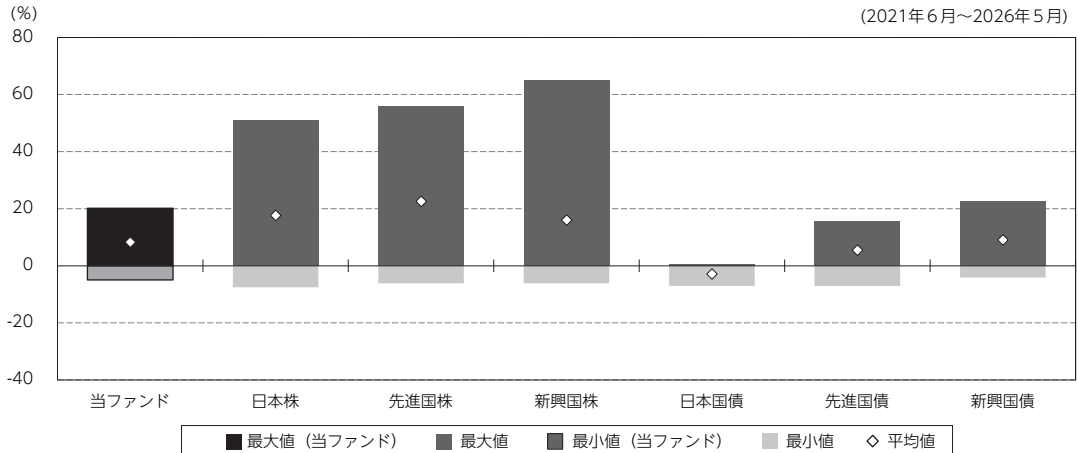
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券／インデックス型
信 託 期 間	無期限（2024年7月17日設定）
運 用 方 針	・主として全世界（日本を含む）の債券市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）とします。 ・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。 ・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。
主要投資対象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資します。
運 用 方 法	主として全世界（日本を含む）の債券市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組み合わせることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分 配 方 針	年4回、原則として、毎年3月、6月、9月および12月の各12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：％)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.2	51.0	55.9	65.1	0.6	15.4	22.7
最小値	△ 4.9	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	8.3	17.6	22.6	16.0	△ 2.9	5.5	9.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年6月から2026年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドにつきましては、運用期間が5年未満であるため、設定日以前につきましては運用の目標となるベンチマークを基に指数化して算出しております。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数
先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）
新興国株…Morningstar 新興国株式指数
日本国債…Morningstar 日本国債指数
先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）
新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

*海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年6月12日現在）

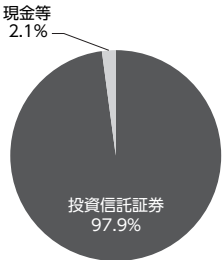
○組入上位ファンド

銘柄名	第8期末
	%
iシェアーズ・コア 世界総合債券市場 ETF	53.8
iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	44.1
組入銘柄数	2銘柄

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）国別配分は組入投資信託証券評価額に対する比率です。

（注3）国別配分は発行国を表示しております。

（注4）通貨別配分は組入投資信託証券の債券評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第7期末	第8期末
	2026年3月12日	2026年6月12日
純資産総額	442,220,547円	619,889,201円
受益権総口数	416,037,099口	581,993,537口
1万口当たり基準価額	10,629円	10,651円

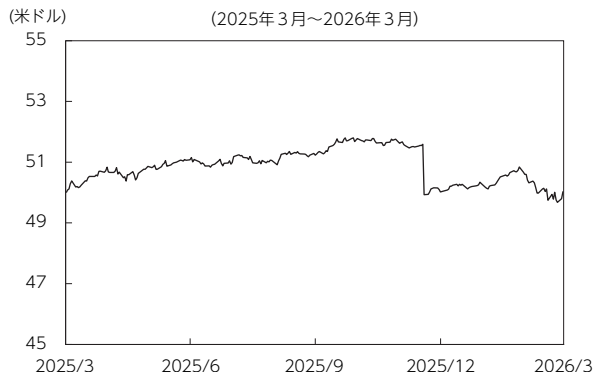
（注）作成期中における追加設定元本額は351,048,839円、同解約元本額は101,882,196円です。

組入上位ファンドの概要

iシェアーズ・コア 世界総合債券市場 ETF

【基準価額の推移】

(2025年3月～2026年3月)



【組入上位10銘柄】

(2026年3月末現在)

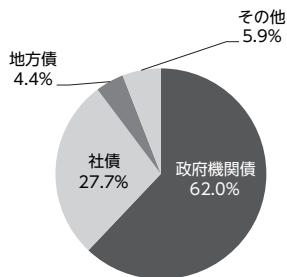
	銘柄名	比率
		%
1	EUR/USD	1.0
2	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.7
3	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.7
4	BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.6
5	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.6
6	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5
7	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5
8	CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5
9	CHINA DEVELOPMENT BANK	0.5
10	CHINA DEVELOPMENT BANK	0.5
組入銘柄数		7,739銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

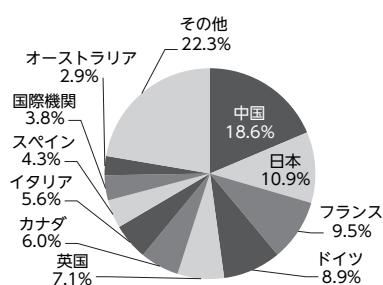
【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

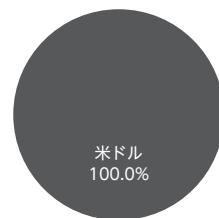
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は債券評価額に対する比率です。

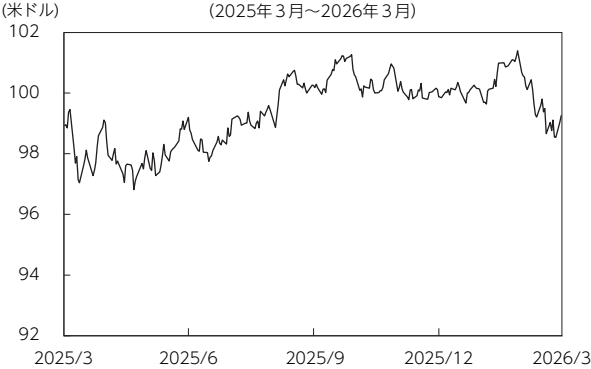
(注4) 国別配分は投資国を表示しております。

※Bloomberg及びブラックロック・ファンド・アドバイザーズのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF

【基準価額の推移】

(2025年3月～2026年3月)



【組入上位10銘柄】

(2026年3月末現在)

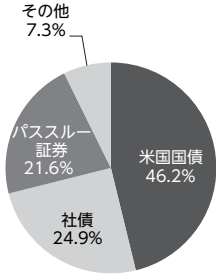
	銘柄名	比率
1	BLACKROCK CASH CL INST SL AGENCY	3.1%
2	TREASURY NOTE	0.4
3	TREASURY NOTE	0.4
4	TREASURY NOTE	0.4
5	TREASURY NOTE	0.4
6	TREASURY NOTE	0.4
7	TREASURY NOTE	0.4
8	TREASURY NOTE	0.4
9	TREASURY NOTE	0.4
10	TREASURY NOTE (2OLD)	0.4
組入銘柄数		13,117銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は債券評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は投資国を表示しております。

※Bloomberg及びブラックロック・ファンド・アドバイザーズのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

<当ファンドのベンチマークについて>

ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。

○ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）

ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）は、複数の自国通貨市場のグローバルな投資適格債で構成される旗艦インデックスです。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の可否、特に本ファンドに投資することの可否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、SBIアセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはSBIアセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、本ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、本ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。